

第 1 会場 G5-G8

シンポジウム 1 SY1

8:30-10:00

ER陽性HER2陰性早期乳癌における個別化治療 (Oncotype Dx, ネオホルモン, CDK4/6 MonarchE) Recent
advances in the personalized treatment for ER-positive/ HER2-negative breast cancer

座長：佐治 重衡 (福島県立医科大学腫瘍内科学講座)
吉波 哲大 (大阪大学医学部附属病院がんゲノム医療センター)

SY1-1

POTENT や monarchE Escalation: high risk ER 陽性乳癌への対応

京都大学大学院医学研究科 乳癌外科学 高田 正泰

SY1-2

多遺伝子アッセイが示す個別治療と今後の課題

昭和大学 医学部 外科学講座乳癌外科学部門 明石 定子

SY1-3

術前ホルモン療法試験 (NEOS 試験) の結果から ER 陽性 HER2 陰性早期乳癌に対する最適な治療を考える

愛知県がんセンター 乳癌科 岩田 広治

ディスカッサント：国立がん研究センター中央病院腫瘍内科 下井 辰徳

兵庫県立がんセンター腫瘍内科 松本 光史

松山赤十字病院乳癌外科 川口 英俊

シンポジウム 2 SY2

10:10-11:40

HER2 陽性乳癌 新たな薬剤の潮流 Novel stream of anti-HER2 therapy

座長：小泉 圭 (浜松医科大学外科学第一講座 乳癌外科学分野)
服部 正也 (愛知県がんセンター乳癌科)

SY2-1

Antibody Drug Conjugates for Optimal Chemotherapy Delivery in HER2 Positive Disease and Beyond.

Breast Oncology and Clinical Trials Education, University of California San Francisco Comprehensive Cancer Center, USA Hope S. Rugo

SY2-2

HER2 陽性乳癌におけるチロシンキナーゼ阻害薬の開発

がん研有明病院 総合腫瘍科 小野麻紀子

SY2-3

HER2 陽性乳がん治療の de-escalation

国立国際医療研究センター病院 乳癌・腫瘍内科 下村 昭彦

ランチョンセミナー 1 LS1

11:50-12:40

The role of immunotherapy in mTNBC ~ How to treat patients on Monday morning

座長：戸井 雅和 (京都大学大学院医学研究科 外科学講座 乳癌外科)

National Cancer Centre Singapore Rebecca Dent

共催：MSD 株式会社

特別講演 1 SL1

13:00-13:40

座長：三好 康雄 (兵庫医科大学病院 乳癌・内分泌外科)

SL1

スーパーコンピュータ・AI で挑む Precision Medicine

京都大学大学院医学研究科 奥野 恭史

シンポジウム3 SY3

13:50-15:20

TN乳癌の治療戦略・DNA損傷と腫瘍免疫 Therapeutic strategies for triple-negative breast cancer; DNA damage response and immunoreactivity

座長：石川 孝 (東京医科大学乳癌科学分野)
高田 護 (千葉大学臓器制御外科学)

SY3-1 Cell intrinsic and immune mediated vulnerabilities in BRCA mutant cancers

Department of Cancer Biology, Penn Center for Genome Integrity, Basser Center for BRCA, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania, Philadelphia, PA, USA **Roger A. Greenberg**

SY3-2 BRCA1/2 復帰突然変異と PARP 阻害剤・プラチナ耐性獲得メカニズム

東海大学 医学部 医学科 分子生命科学 谷口 俊恭

SY3-3 腫瘍免疫ゲノム解析に基づく TN 乳癌のバイオマーカー探索

九州大学 臨床・腫瘍外科 久保 真

SY3-4 MUC1-C Chronically Activates Cytosolic Nucleotide Sensing and Type-I IFN Pathway in TNBC.

ダナ・ファアバー癌研究所 山下 奈真

SY3-5 術前化学療法施行トリプルネガティブ乳癌症例の腫瘍内 STING 発現の意義

がん研究会有明病院 乳腺センター 前田 哲代

シンポジウム4 SY4

英語セッション 15:30-17:00

術前薬物 (/ 化学) 療法後の腋窩のマネージメントについて インターナショナルビデオセッション Axillary management for patients converting from cN+ to ycN0 through neoadjuvant chemotherapy

座長：神野 浩光 (帝京大学外科)
林 直輝 (聖路加国際病院乳腺外科)

SY4-1 Axillary surgery in node-positive breast cancer (St. Gallen)

Breast Surgery (University Hospital Basel, Switzerland) **Walter P. Weber**

SY4-2 Axillary Management of Clinically Node Positive (cN+) Patients who Convert to Clinically Node Negative (cN0) following Neoadjuvant Chemotherapy

JGH Segal Cancer Centre, McGill University Medical School, Montreal, QC, Canada **Stephanie M Wong**

SY4-3 Axillary management in N+ BC

Division of Breast, Department of Surgery, College of Medicine, University of Ulsan, Asan Medical Center, Korea **Hee Jeong Kim**

SY4-4 Approach to Sentinel Lymph Nodes Biopsy after Neoadjuvant Chemotherapy for Lymph Node-Positive Breast Cancer

リンパ節転移陽性乳がんに対する術前化学療法後のセンチネルリンパ節生検のアプローチ

千葉県がんセンター 乳腺外科 中村 カ也

SY4-5 Feasibility of targeted axillary dissection using axillary ultrasound and India ink injection: Introduction of our prospective interventional study

術前化学療法施行中の超音波検査での転移リンパ節の追跡と、点墨を用いた Targeted axillary dissection ~当院の向きき介入研究手術手技の紹介~

がん研有明病院 乳腺センター 乳腺外科 坂井 威彦

ポスターディスカッション PD1

17:10-18:00

薬物療法

座長：尾崎由記範 (がん研究会 有明病院 乳腺内科)
徳田 恵美 (福島県立医科大学 腫瘍内科)

PD1-1 当院における CDK4/6 阻害薬の治療成績についての検討

神戸市立医療センター中央市民病院 乳腺外科 大山 友梨

- PD1-2** 進行再発乳癌に対する CDK4/6 阻害剤に優劣は存在するのか : abemaciclib と palbociclib の有効性と安全性の比較
福山市民病院 乳腺甲状腺外科 / 岡山大学病院 乳腺内分泌外科 **中本 翔伍**
- PD1-3** 当院における BRCA Analysis の検査状況とオラパリブの使用経験
川崎市立多摩病院 乳腺・内分泌外科 / 聖マリアンナ医科大学 プレスト&イメージング先端医療センター **志茂 彩華**
- PD1-4** 実臨床下における HER2-low 転移再発乳癌に対するエリプリンの有効性の検討
順天堂大学医学部 乳腺腫瘍学講座 **渡邊純一郎**
- PD1-5** 乳癌治療における薬剤関連顎骨壊死の発症に関する検討
千葉労災病院 外科 **石井奈津美**

イブニングセミナー 1 ES1 18:10-19:10

BRCA 遺伝子変異陽性乳がん患者に対する介入 (RRM、RRSO) ～乳腺外科、婦人科の立場から～

座長：高橋 将人 (北海道大学病院 乳腺外科)

- ES1-1** BRCA 遺伝子変異陽性乳がん患者に対する介入 (リスク低減卵管・卵巣摘出術) ～婦人科の立場から～
慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 **小林 佑介**
- ES1-2** BRCA 遺伝子変異陽性乳がん患者に対する介入 (リスク低減乳房切除術) ～乳腺外科の立場から～
京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学 **高田 正泰**
共催：アストラゼネカ株式会社

第2会場 G303・G304

教育セミナー 1 (診断編) KS1 9:00-10:00

マンモグラフィ・乳房超音波診断の基本：ガイドラインの改訂をふまえて Up-to-date Breast Imaging : Focus on Revised Guidelines for Mammography and Breast Ultrasound

司会：島 宏彰 (札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科)
白岩 美咲 (香川県立中央病院 乳腺センター)

- KS1-1** マンモグラフィガイドライン第4版改訂のポイント
講師：聖路加国際病院 放射線科 **角田 博子**
- KS1-2** 乳房超音波診断ガイドライン第4版改訂のポイント
講師：公益財団法人東京都予防医学協会 がん検診・診断部 **坂 佳奈子**

教育セミナー 2 (治療編) KS2 10:00-11:00

腋窩・領域リンパ節のマネージメント The evolution of the axillary and regional lymph node management in Breast Cancer

司会：上野 貴之 (がん研有明病院 乳腺外科・がんゲノム医療開発部)
山内智香子 (滋賀県立総合病院 放射線治療科)

- KS2-1** 乳癌診療ガイドライン外科療法 2022 からみた腋窩マネージメント
講師：札幌医科大学 医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科 **九富 五郎**
- KS2-2** 腋窩・領域リンパ節のマネージメント：放射線治療医の立場から
講師：名古屋大学 放射線科 **川村麻里子**

日本乳癌学会・日本乳癌検診学会 合同セッション JS1

11:10-11:40

乳がん検診の精密検査実施機関基準の改定について Revised edition of Japanese standards of medical facilities required for further assessment of a perceived abnormality detected at breast cancer screening

座長：田口 哲也（京都府立医科大学内分泌・乳腺外科学）

JS1

乳がん検診の精密検査実施機関基準（2022年版）解説

日本乳癌学会 検診関連委員会 植松 孝悦

ランチョンセミナー 2 LS2

11:50-12:40

実践 乳癌エキスパートパネル - FoundationOne CDx /Liquid CDxがゲノムプロファイルの結果の解釈と活用 -

座長：増田 慎三（名古屋大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学）

東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 多田 寛

共催：中外製薬株式会社

シンポジウム 5 SY5

13:50-15:20

次世代につながるがんサバイバーシップケアの実践と展望 Survivorship Practice and Prospects for Future Generations

座長：大野 真司（がん研究会有明病院乳腺センター）

北野 敦子（聖路加国際病院腫瘍内科）

SY5-1

エビデンスに基づく乳がんサバイバーシップケア：大規模疫学調査の結果より

国立がん研究センターがん対策研究所 疫学研究部 岩崎 基

SY5-2

Value Based Medicine 時代の「乳癌の臨床」と「医療経済」

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 岩谷 胤生

SY5-3

がん患者・サバイバーシップ再考 ～ From cancer patient to cancer survivor ～

一般社団法人CSRプロジェクト / キャンサーソリューションズ株式会社 桜井なおみ

SY5-4

プライマリーケアが支える地域におけるがんサバイバーシップケア

公平病院 公平 誠

SY5-5

在宅高強度インターバル運動プログラムが乳がんサバイバーの心肺機能に及ぼす影響：ランダム化比較試験

法政大学 生命科学部 / 国立がん研究センター中央病院 越智 英輔

SY5-6

乳がん体験者の身体活動とセデンタリータイムおよびガイドライン既知に関連する因子：横断的研究

東海大学大学院 医学研究科先端医科学専攻 佐藤 えみ

シンポジウム 6 SY6

15:30-17:00

乳癌画像診断におけるAIの開発動向について Development of artificial intelligence in breast imaging diagnosis

座長：植松 孝悦（静岡がんセンター乳腺画像診断科）

後藤真理子（京都府立医科大学放射線科）

SY6-1

消化器内視鏡 AI の導入と今後の展望

株式会社AIメディカルサービス / ただともひろ胃腸科肛門科 多田 智裕

SY6-2

マンモグラフィをはじめとした AI の応用

大阪公立大学健康科学イノベーションセンター スマートライフサイエンスラボ 植田 大樹

SY6-3

AI による MG 診断能と乳房構成判定の研究

湘南記念病院 乳がんセンター 井上 謙一

- SY6-4** Radiomics で初診時マンモグラフィから乳癌の特徴を予測する
(複数施設画像の Data Harmonization)
国際医療福祉大学成田病院 乳腺外科 / 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 外科 関根 速子
- SY6-5** 人工知能 METIS-EYE・BI-RADS 判定エンジンの臨床適用
慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 林田 哲
- SY6-6** 乳腺超音波における検出支援 AI 搭載機器使用の実際
香川医療生活協同組合高松平和病院 乳腺外科 / とくしまプレストケアクリニック 何森亜由美

ポスターディスカッション PD2 17:10-18:00

放射線診断 (画像診断)

座長：大竹 徹 (福島県立医科大学 医学部 乳腺外科学講座)
宮下 穰 (東北大学 乳腺・内分泌外科)

- PD2-1** マンモグラフィにおける石灰化病変の取り扱い
公益財団法人 星総合病院 外科 松壽 正實
- PD2-2** DCIS における MMG 所見と悪性度及び臨床病理学的所見との関連
九州がんセンター 乳腺科 古閑知奈美
- PD2-3** マンモグラフィにおける動脈壁の石灰化と虚血性心疾患との関連性について
丸山記念総合病院 外科 廣川 詠子
- PD2-4** J-START における追跡調査の現状
東北医科薬科大学 医学部 乳腺内分泌外科 鈴木 昭彦
- PD2-5** ステージ I/II の原発性トリプルネガティブ乳癌における治療開始前画像を用いた予後予測
東京女子医科大学 乳腺外科 塚田 弘子

イブニングセミナー 2 ES2 18:10-19:10

乳癌化学療法の副作用マネジメント

座長：向井 博文 (国立がん研究センター東病院 腫瘍内科)

- ES2-1** 乳癌における注射レジメンとその投与マネジメント
がん研究会有明病院 乳腺センター 乳腺内科 原 文堅
- ES2-2** ティーエスワンの投与マネジメント - 手術不能又は再発乳癌での使用を中心に -
大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学 高島 勉
共催：大鵬薬品工業株式会社

第3会場 G301・G302

シンポジウム 7 SY7 8:30-10:00

AYA 世代乳がん患者の妊娠と出産 - Next Step - Challenges for AYA Breast Cancer Patients: Pregnancy, Childbirth and Future Prospects

座長：有賀 智之 (がん・感染症センター都立駒込病院外科 (乳腺)・遺伝子診療科)
山内 英子 (聖路加国際病院乳腺外科)

- SY7-1** がん・生殖医療ネットワークの現状と今後の展望 - 生殖医療の立場から -
聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 高江 正道
- SY7-2** がん治療後の妊娠について考える - がん治療の立場から -
聖路加国際病院 腫瘍内科 北野 敦子

SY7-3 がん・生殖連携における看看連携の実践—看護師の立場から—

国立がん研究センター中央病院 看護部 稲村 直子

SY7-4 これからのがん・生殖医療に対する期待と希望—患者の立場から—

若年性乳がんサポートコミュニティ Pink Ring 御船 美絵

SY7-5 乳癌治療が妊孕性に及ぼす影響の多施設共同研究（日本産婦人科学会 生殖・内分泌委員会からの報告）

金沢医科大学 乳腺・内分泌外科 井口 雅史

SY7-6 妊娠期乳がんにおける術式選択と術後経過：DPC データベースを用いた 260 例の検討

東京大学大学院 医学系研究科 外科学専攻 乳腺内分泌外科学 / 東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学 小西 孝明

シンポジウム8 SY8

10:10-11:40

Beyond BRCA:BRCAの先の乳腺診療における遺伝医療 Beyond BRCA: Management of hereditary breast cancer associated with genes other than BRCA1/2

座長：津川浩一郎（聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科）
中村 清吾（昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門）

SY8-1 ハイリスク乳がんと遺伝性乳がん～ Beyond BRCA の更なる乳がんの個別化治療に向けて

昭和大学 臨床ゲノム研究所 吉田 玲子

SY8-2 遺伝性乳癌診療—BRCA からその先へ—

がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) / がん・感染症センター都立駒込病院 遺伝子診療科 有賀 智之

SY8-3 乳癌を契機に診断された Li-Fraumeni 症候群のフォローアップ体制

聖路加国際病院 乳腺外科 / 聖路加国際病院 遺伝診療センター 竹井 淳子

SY8-4 HBOC 診療の保険収載後の他の遺伝性乳癌に対する遺伝診療の方策

高知大学医学部附属病院 乳腺センター / 高知大学医学部附属病院 臨床遺伝診療部 杉本 健樹

SY8-5 BRCA1/2 以外の乳癌高リスク遺伝子群に対するサーベイランス MRI の現状と課題

がん研究会有明病院 画像診断部 菊池 真理

SY8-6 大規模データベースを活用した遺伝性乳癌に対する戦略

東北大学大学院 医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 / 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 濱中 洋平

SY8-7 当院における BRCA 遺伝子検査結果と臨床学的特徴および PleSSision Rapid 検査結果との一致率について

慶應義塾大学医学部 外科学(一般・消化器) 山脇 幸子

ランチョンセミナー3 LS3

11:50-12:40

HR陽性HER2陰性乳癌における術後ホルモン療法 ～ページニオのもたらすベネフィット～

座長：田村 研治（島根大学医学部附属病院／先端がん治療センター）

広島大学病院 乳腺外科 角倉 学行
共催：日本イーライリリー株式会社

シンポジウム9 SY9

13:50-15:20

ゲノム医療の現在と未来—それぞれの役割 Present and future of genome medicine—we all have a role

座長：上野 貴之（がん研有明病院乳腺外科）
山本 豊（熊本大学病院乳腺・内分泌外科）

SY9-1 Where are we in Genome Medicine

Roswell Park Comprehensive Cancer Center University at Buffalo Jacobs School of Medicine and Biomedical Sciences, the State University of New York, USA / Tokyo Medical University / Yokohama City University / Niigata University / Fukushima Medical University Kazuaki Takabe

SY9-2 HBOC の遺伝型と表現型相関の臨床応用

昭和大学 臨床ゲノム研究所 吉田 玲子

SY9-3 乳癌診断・手術時に CGP を施行する有用性と今後の展開

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 林田 哲

SY9-4 高度がんゲノム医療へ向けた取組み

がん研有明病院 乳腺外科・がんゲノム医療開発部 上野 貴之

ディベートセッション DS

15:30-17:00

ホルモン陽性HER2陰性乳癌の術後治療に関して

座長：北野 敦子 (聖路加国際病院 腫瘍内科)

深田 一平 (がん研究会有明病院 乳腺センター・乳腺内科、ゲノム診療部)

DS-1 術後再発ハイリスク症例に対するアヘマシクリブの上乗せについて～内分泌療法単独の立場から～

ディベーター：国立がん研究センター中央病院腫瘍内科 齋藤 由美

ディベーター：国立がん研究センター中央病院腫瘍内科 日比野 幸子

DS-2 術後ハイリスク luminal 乳癌に対してはアヘマシクリブを追加すべきである

ディベーター：愛知県がんセンター 乳腺科 能澤 一樹

ディベーター：名古屋大学 乳腺・内分泌外科 岩瀬 まどか

ポスターディスカッション PD3

17:10-18:00

病理診断

座長：黒住 献 (国際医療福祉大学医学部 乳腺外科学)

千葉 知宏 (がん研究所 病理部)

PD3-1 MMG/US 同時併用検診の精査における細胞診の有用性

高松平和病院 武部 晃司

PD3-2 非浸潤癌における TILs は浸潤の有無を予測できるか

徳島大学大学院 胸部・内分泌・腫瘍外科 井上 寛章

PD3-3 臨床的リンパ節転移陰性症例に対して術前化学療法後にセンチネルリンパ節生検を施行した症例の長期予後

大阪大学大学院 医学系研究科 乳腺内分泌外科学講座 増永 奈苗

PD3-4 浸潤性小葉癌の perivascular infiltration は腫大しないリンパ節転移と関連する

弘前大学 医学部 消化器外科 / 弘前大学 医学部 分子病態病理 井川 明子

PD3-5 トリプルネガティブ乳癌における GPER を介したタモキシフェンの影響

東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野 深澤 匠

第4会場 G314・G315

ランチョンセミナー4 LS4

11:50-12:40

乳がん患者に対するBRCA検査とHBOC診療～すべての患者にBRCA検査は必須か～

座長：山内 英子 (聖路加国際病院乳腺外科)

国立がん研究センター中央病院 田辺 記子

共催：ミリアド・ジェネティクス合同会社

イブニングセミナー 3 ES3

18:10-19:10

AYA 世代乳がん患者の Advance Care Planning

座長：大野 真司 (がん研究会有明病院 乳腺センター)
 桜井なおみ (キャンサー・ソリューションズ株式会社)

ES3-1 完治困難な AYA 世代のがん患者に対する ACP の現状と今後の課題

博愛会 相良病院 乳腺科 相良 安昭

ES3-2 AYA 世代再発・進行乳がん患者を取り巻く心理社会的課題と ACP

昭和大学 保健医療学部 渡邊 知映

ES3-3 薬剤師による AYA 世代乳がん患者の ACP 支援

宮城県立がんセンター 薬剤部 土屋 雅美
 共催：エーザイ株式会社

第5会場 G318・G319

ランチョンセミナー 5 LS5

11:50-12:40

A new Insight of HER2-targeted therapies

座長：神野 浩光 (帝京大学医学部外科学講座 乳腺グループ)

Department of Breast Surgery, Gangnam Severance Hospital Soong June Bae

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

イブニングセミナー 4 ES4

18:10-19:10

乳がん治療医は患者の緩和ケアにどこまで関わるべきか

座長：石川 孝 (東京医科大学病院 乳腺科)

ES4-1 乳がん治療医が知るべき基礎緩和

奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター 四宮 敏章

ES4-2 乳がん治療医が関わるべき疼痛マネジメント

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 佐伯 俊昭
 共催：塩野義製薬株式会社

第6会場 G403・G404

委員会企画 専門医制度委員会 認定委員会 地方創生委員会

9:30-10:30

専門医制度・認定・地方創生 合同委員会報告

座長：石田 孝宣（東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野）
 石川 孝（東京医科大学 乳腺科学分野）
 増田 慎三（名古屋大学大学院 乳腺・内分泌外科学）

東京医科大学 乳腺科学分野 石川 孝
 名古屋大学大学院 乳腺・内分泌外科学 増田 慎三

A. 新専門医制度に関して

- 1) カリキュラムの紹介
- 2) 2022年度からスタートの運動研修における基幹・連携施設の決定、専攻医の応募状況
- 3) 適及措置
- 4) 乳癌学会の乳腺専門医（外科系）から機構の乳腺外科専門医への移行

B. 今年度の専門医試験の予定

について進捗状況を説明する予定である。

地方創生委員会

新専門医制度による乳腺外科カリキュラムが導入されたが、現在、認定医のみの会員が1200人以上存在し、また機構認定の基幹・連携施設以外の施設で毎年2万例以上の乳癌診療が行われている。

日本の乳腺診療を支えるためには、乳癌学会独自の「認定医」および「認定施設」を整備し直して維持することが重要であるため、今回改正の概要について説明する。

委員会企画 学術委員会

10:40-11:40

研究奨励賞受賞講演

座長：山本 豊（熊本大学病院 乳腺・内分泌外科）

シングルセル解析の魅力と今後の挑戦

福岡赤十字病院 森 瞳美

乳癌の腫瘍内不均一性に関する臨床病理学的解析・遺伝子発現解析による原因究明とその克服を目指して

国立がん研究センター中央病院 権野 翔

班研究報告

座長：山本 豊（熊本大学病院 乳腺・内分泌外科）

乳癌診療における ePRO の適正化の検討

川崎医科大学 乳腺甲状腺外科学 平 成人

第26回乳癌学会班研究「乳房再建の安全性と予後に関する研究」報告

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 枝園 忠彦

ランチョンセミナー 6 LS6

11:50-12:40

乳癌治療・乳房再建のShared Decision Making とチーム医療

座長：枝園 忠彦（岡山大学病院 乳腺・内分泌外科）

LS6-1 Shared Decision Making とチーム医療

京都大学大学院医学研究科 中山 健夫

LS6-2 当院におけるチーム医療と再建術の工夫

三重大学医学部附属病院 乳腺センター 小川 朋子

共催：アラガン・ジャパン株式会社

乳癌臨床研究推進を目指して

座長：向井 博文（国立がん研究センター東病院）

清水千佳子（国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科）

岡山大学病院 乳腺・内分泌外科 枝園 忠彦

名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座 乳腺・内分泌外科学 増田 慎三

がん研究会有明病院 乳腺内科 高野 利実

関西医科大学乳腺外科 木川雄一郎

呉医療センター中国がんセンター乳腺外科 重松 英朗

関西医科大学乳腺外科 木川雄一郎

臨床研究委員会では日本における乳癌研究の推進のために、日本乳癌学会学術総会のお借りして皆さんと共に「乳癌臨床研究推進を目指して」と題した様々な議論を行いたい。まずは会員の皆様にもご協力いただいた、臨床試験における課題に関するアンケートの結果を報告させていただき、共に考察をする場としたい。その上で、日本から世界にエビデンスを発信してきた国内の主要な乳がん臨床試験グループ（JCOG, JBCRG, WJOG, CSPOR-BC）の、それぞれのグループの主な活動を知っていただき、今後の課題も検討していきたい。さらに日本乳癌学会の臨床試験の登録サイトに関する新たな取り組みや活用法をご紹介するとともに、患者さん自身が自分に適する試験を検索が可能となる仕組みやアプリ版の開発なども含め、臨床試験へのアクセスの向上を目指した将来的な方向性を共に検討していきたい。また、臨床試験の質を向上し、より現場に還元しうるエビデンスとするには、研究への患者市民の参画も重要と考えられるが、課題もある。その観点から患者市民の代表として桜井なおみさんにも提言をいただく予定である。

国際委員会報告およびJBCS Young Investigator Grant for SABCS 2021 受賞式ならびに受賞講演

座長：津川浩一郎（聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科）

Establishment of novel BRCA1ness score to quantify BRCAness in breast cancer

横浜市立大学附属病院 押 正徳

Clinical impact of tumor infiltrating lymphocytes and neutrophil-lymphocyte ratio in estrogen receptor-positive/HER2-negative breast cancer patients with high 21-gene signature recurrence scores

兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科 金岡 暹

Eribulin treatment for hormone receptor positive breast cancer cells with resistant to endocrine therapy promotes re-expression of estrogen receptor

大阪公立大学 乳腺外科 後藤 航

放射線誘発性血管肉腫：日本における Individual participant meta-analysis

聖路加国際病院 乳腺外科 竹原 侑里

乳癌細胞株での骨芽細胞分化試薬による胎盤型アルカリホファターゼを介した石灰化誘導

東京慈恵会医科大学 外科学講座 / 東京慈恵会医科大学 基盤研究施設 伏見 淳

A cross-sectional study to investigate association between oncoplastic techniques and patient satisfaction who received breast-conserving surgery

相良病院 乳腺甲状腺外科 満枝 怜子

新 乳癌診療ガイドライン2022年版 改定のポイント

座長：佐治 重衡（福島県立医科大学 腫瘍内科）
岩田 広治（愛知県がんセンター乳癌科）

福島県立医科大学 腫瘍内科 佐治 重衡
名古屋市立大学大学院医学研究科 乳腺外科学分野 遠山 竜也
札幌医科大学附属病院 消化器・総合・乳腺・内分泌外科 九富 五郎
京都大学医学部附属病院 放射線治療科 吉村 通央
川崎医科大学総合医療センター 外科 中島 一毅
国立がん研究センター中央病院 病理科・臨床検査科 吉田 正行
大谷しょういちろう乳腺クリニック 大谷彰一郎
国立病院機構九州がんセンター 乳腺科 徳永えり子

ガイドラインの作成基準や作成方法が大きく変化した2018年版乳癌診療ガイドラインの発刊から4年を経て、6月30日に2022年版乳癌診療ガイドラインが発刊されました。WEB版では、6ヶ月～12ヶ月毎に改訂をしてきておりますが、今回は大きなアップデートとなります。方向性は2018年版と同じですが、より使いやすくなるための工夫や、日常診療に影響のあるCQの推奨変更もあります。このセッションでは、各領域の小委員会委員長より改訂のポイントとその影響について、短い時間ではありますが概説いただきます。

イブニングセミナー 5 ESS

18:10-19:10

CDK4/6阻害剤によるがん細胞制御

座長：杉江 知治（関西医科大学附属病院 乳腺外科）

慶應義塾大学 医学部 先端医学研究所 遺伝子制御研究部門 有馬 好美
共催：ファイザー株式会社 メディカル・アフェアーズ部

第7会場 G401・G402

ビデオセッション VS

10:10-11:40

次世代へ繋ぐ外科の特技 Connecting to Future Generations of Breast Cancer Surgery

座長：小川 朋子（三重大学医学部附属病院 乳腺センター）
増田 慎三（名古屋大学大学院医学系研究科 病態外科学講座 乳腺・内分泌外科学）

VS-1 Skin-preserving breast-conserving surgery using wide rotation flap for lower cases

亀田総合病院 乳腺科 越田 佳朋

VS-2 A区域・AB区域・AC区域病変に対する乳房温存オンコプラステックサージャリー

藤田医科大学医学部 乳腺外科 喜島 祐子

VS-3 乳房温存オンコプラステックサージャリーステップアップガイド
縮小術を用いた温存術

中頭病院 乳腺センター / JOPBS乳房温存オンコプラステックサージャリーワーキンググループ 座波 久光

VS-4 乳房中央部（E区域）乳癌に対する乳房温存オンコプラステックサージャリー

千葉大学 臓器制御外科 藤本 浩司

VS-5 高度肥満患者においても血管・神経を容易に確認できる Level I・Level II 腋窩リンパ節郭清術の手順

川崎市立川崎病院 外科 萬谷 京子

VS-6 陥没乳頭と乳輪下腫瘍
～患者背景に配慮した処置と術式 200例の検討で見えたこと～

いまむらウィミンズクリニック 乳腺外科 渡海由貴子

ランチョンセミナー 7 LS7

11:50-12:40

乳房画像診断と個別化治療の最新 Topics ～針生検の役割について考える～

座長：久保田一徳（獨協医科大学 埼玉医療センター）

LS7-1

東京医科歯科大学 放射線診断科 藤岡 友之

LS7-2

昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門 桑山 隆志

共催：株式会社メディコン

日本乳癌学会・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 合同シンポジウム JS2 13:50-15:30

JBICS/JOPBS 合同シンポジウム—乳癌診療におけるオンコプラスチックサージャリーの洗練・技術進化 JBICS/
JOPBS Joint Session: Renovation/Evolution of Oncoplastic Breast Surgery in Japan for Treating Breast
Cancer

座長：津川浩一郎（聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科）

三鍋 俊春（埼玉医科大学総合医療センター 形成外科・美容外科）

JS2-1

乳房再建と術前後補助療法 - ガイドライン・使用要件基準での位置づけを中心に -

東京医科歯科大学 形成・再建外科学分野 森 弘樹

JS2-2

放射線療法：PMRT（Postmastectomy Radiation Therapy）における乳房再建

久留米大学 放射線腫瘍センター 淡河津津世

JS2-3

片側・両側インプラント再建：BIA-ALCL/BII を想定した長期経過観察

杏林大学 医学部 形成外科 白石 知大

JS2-4

乳房再建における脂肪移植の利用法

自治医科大学 形成外科 吉村浩太郎

JS2-5

皮弁、インプラント、脂肪注入によるハイブリッド乳房再建

横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科 武藤 真由

JS2-6

リスク低減乳房切除術後の乳房再建 - 切開線の選択 -

聖路加国際病院 乳腺外科 / 聖路加国際病院 形成外科 名倉 直美

JS2-7

乳房温存手術：Basic OPBCS を意識した比較的シンプルな volume displacement & replacement technique

三重大学医学部附属病院 乳腺センター 小川 朋子

JS2-8

乳房温存手術：Rotation flap を軸に据えた volume displacement & replacement technique

大阪大学大学院 医学系研究科 乳腺内分泌外科 三宅 智博

ポスターディスカッション PD4

17:10-18:00

遺伝

座長：有賀 智之（がん・感染症センター都立駒込病院 外科（乳腺）・遺伝子診療科）

吉田 美和（昭和大学江東豊洲病院 乳腺外科）

PD4-1

1995 例の乳癌症例の生殖細胞系列の解析において *CHEK2* または *ATM* に病的バリエントを認めた 6 例の臨床像

京都大学医学部附属病院 乳腺外科 服部 響子

PD4-2

卵巣癌既発症 *BRCA* 病的バリエント保持者の乳房管理・乳癌の罹患についての検討

公益財団法人がん研究会有明病院 乳腺センター 春山優理恵

PD4-3

BRCA 病的バリエント保持の原発性乳癌症例における治療方針決定の傾向

がん研究会有明病院 乳腺センター 稲荷 均

PD4-4

BRCA1/2 病的バリエントを保持するがん未発症者への生殖に関する遺伝カウンセリングの課題

公益財団法人 がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部 新川 裕美

PD4-5

C-CAT データベースを利用した浸潤性小葉癌における BRCA1/2 病的バリエントの陽性率の検討

栃木県立がんセンター 乳腺外科 竹前 大

イブニングセミナー 6 ES6

18:10-19:10

“いま” Bevacizumab の役割とは？ ~Post CDK4/6 阻害剤~

座長：佐治 重衛 (福島県立医科大学医学部 腫瘍内科学講座)

ES6-1

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学 高田 護

ES6-2

福島県立医科大学医学部 乳腺外科学講座 立花和之進

共催：中外製薬株式会社

第8会場 G414・G415

委員会企画 登録委員会

8:30-10:00

NCD 乳癌登録を利用した研究

座長：神野 浩光 (帝京大学 外科)
大野 真司 (がん研究会有明病院 乳腺センター)

がん研究会有明病院 原 文堅
 国立がん研究センター中央病院 村田 健
 広島大学 笹田 伸介
 九州大学大学院 臨床腫・瘍外科 甲斐 昌也
 東京大学医学部附属病院 放射線科 扇田 真美
 国立国際医療センター 下村 昭彦
 愛知県がんセンター 安立 弥生
 相原病院 相原 智彦

医療ビッグデータの基盤整備と研究利用が進みつつあり、ランダム化試験などによるエビデンスに加えて、real world data の重要性が認識されつつある。乳癌登録は1975年に乳癌研究会の事業として開始され、現在ではNCD (National Clinical Database) 乳癌登録となり、これまでに70万件を超える患者情報が1400以上の施設より登録され、本邦の乳癌罹患数の80%以上をカバーするデータベースとなっている。日本乳癌学会ではNCD乳癌登録を利用した研究課題を2013年より行っており、結果は英文論文として公表されている。本セッションでは、現在、進行中のNCD乳癌登録を利用した臨床研究についてそれぞれの研究担当者からご報告頂き、今後の方向性についても検討する。

委員会企画 選挙委員会

10:40-11:40

選挙制度改革案について

座長：岩田 広治 (愛知県がんセンター)

東京医療保健大学 阿部 恭子
 埼玉医科大学総合医療センター形成外科 三鍋 俊春
 兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科 三好 康雄

乳癌学会の評議員選挙および役員選挙は、乳癌学会発足後30年に渡り、大きな改革のないまま継続されてきた。乳癌診療を取り巻く環境は、この30年で大きく変わり、乳癌学会の会員の属性も外科のみならず形成外科、腫瘍内科を専門とする医師も増加し、外科以外の臨床系とまとめることに無理が生じてきている。また選挙の仕組み自体も、評議員選挙における組織票の問題、評議員の都市部集中の問題など、選挙のたびに指摘を受けてきた。このような背景の中で2021年より選挙制度改革に着手し、会員の皆さんへのアンケートを実施した。その後選挙委員会での様々な角度からの議論を踏まえ、2026年評議員選挙からの改革案の骨子がまとまったので提示をして会員の皆様の意見を聞きたいと考えています。2023年評議員会では選挙に関する定款改訂の審議をお願いする予定です。是非、多くの会員の方がこの公聴会に参加いただけることを期待しています。

ランチョンセミナー 8 LS8

11:50-12:40

乳がんの低侵襲性治療：次のステージに備えて

座長：戸崎 光宏（相良病院 放射線科）

LS8-1 低侵襲治療としての凍結療法：基礎から臨床まで

東京慈恵会医科大学附属柏病院 放射線部 最上 拓児

LS8-2 乳癌低侵襲治療の展望

杏林大学医学部 乳腺外科 井本 滋

共催：乳癌低侵襲治療研究会

委員会企画 検診関連委員会

13:50-14:50

診断カテゴリーに基づくPPV3：PPV3データベースソフトについて

座長：石田 孝宣（東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野）

静岡がんセンター 乳腺画像診断科 植松 孝悦

獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科 久保田一徳

静岡がんセンター 乳腺画像診断科 植松 孝悦

日本乳癌学会は、検診で施行する乳房画像検査のカテゴリーを「検診カテゴリー」、精検施設で行う乳房画像検査の総合判定カテゴリーを「診断カテゴリー」とする、検診/診断カテゴリーに対応する推奨マネジメントを乳腺診療で実施することを求めた「検診カテゴリーと診断カテゴリーに基づく乳がん検診精検報告書作成マニュアル」を2019年7月に発刊した。このマニュアルの目的は、共通言語（検診/診断カテゴリー）に基づく医療従事者間の意思疎通による乳腺診療の効率化と均てん化、並びにエビデンスに基づく乳房画像診断の質を評価するための指標の設定である。適切な診断カテゴリーから計算されるPPV3＝乳癌数 / (診断カテゴリー4, 5の症例で組織生検または細胞診が施行された症例数)は、乳房画像検査の質を評価するための指標となる。本セッションは、診断カテゴリーに基づくPPV3を解説するとともに、PPV3を算出するためのフリーソフトを紹介する。

委員会企画 編集委員会

15:00-15:40

Breast Cancer誌の現状報告と編集方針

座長：三好 康雄（兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科）

Springerジャーナル編集部 新井 遙子

兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科 三好 康雄

・ Best of Breast Cancer表彰式

・ Reviewer賞表彰式

Breast Cancer誌は、日本乳癌学会の英文雑誌として1994年に刊行され、現在29巻が発刊されている。投稿された論文の査読、採択の判定は日本乳癌学会の編集委員会が担っている。Editor-in-chief 1名、Chief managing editor 3名、Associate editorとして病理、基礎、薬物療法、外科、放射線診断、放射線治療の各分野を10名の委員と5名の外部委員、そして2名の統計コンサルタントから構成されている。2021年の投稿数は1019であり、採択率は10.0%まで低下している。インパクトファクターは2020年には4.239を取得した。Breast Cancer誌に掲載されたすべての論文のなかから、優れた論文10編（基礎5編、臨床5編）をBest of Breast Cancerとして選定している。また、多くの論文のReviewを担当いただいた先生にはReviewer賞を授与している。今後ともより多くの良質な論文を採択し、国際的に評価される学術誌を目指したい。

本企画では、1) Breast Cancer誌の編集状況の報告、2) 編集方針、3) Best of Breast Cancer、Reviewer賞受賞者の表彰を行う。

第9会場 G418・G419

委員会企画 働き方検討委員会

10:10-11:40

外来負担は如何にすれば軽減できるか？

座長：明石 定子（昭和大学医学部外科学講座乳腺外科学部門）
大野 真司（がん研究会有明病院 乳腺センター）

東京慈恵会医科大学 川瀬 和美
広島大学病院 乳腺外科 恵美 純子
諏訪中央病院 石毛 広雪
国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科 清水千佳子
弘前市立病院 長谷川善枝
川口市立医療センター 乳腺外科 中野 聡子
がん研究会有明病院 乳腺センター 荻谷 朗子

昨年末に働き方検討委員会を実施した「乳癌診療の勤務体制・女性医師支援・働き方改革に関するアンケート」の中で、外来負担の厳しさを訴える悲鳴のようなコメントが多数寄せられた。外来負担は如何にすれば軽減できるのか、少人数施設の取り組みも含め、種々の施設での工夫をそれぞれ紹介いただく。また、手術説明ビデオを作成した施設では手術説明前に予め見てもらうことで手術説明時間が半減したとのことである。詳細をご紹介いただくと共に、委員会としても学会員の先生方へ外来で活用していただけるような汎用性の高い手術説明ビデオを作成中である。働き方改革の期限が迫る中、本企画が会員の皆様の負担軽減につながることを期待する。

ランチョンセミナー 9 LS9

11:50-12:40

チーム医療で取り組む『遺伝性乳癌の臨床と画像』

座長：津川浩一郎（聖マリアンナ医科大学病院 乳腺・内分泌外科）

LS9-1 乳腺外科医の立場から

聖路加国際病院 乳腺外科 竹井 淳子

LS9-2 放射線科医の立場から

聖路加国際病院 放射線科 角田 博子

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 / アクトメッド株式会社

ポスターブース① G1-G4

ミニポスター発表 PO1

17:10-18:00

患者支援・ライフスタイル

座長：柏葉 匡寛（足立乳腺クリニック 乳腺外科）

PO1-1 乳癌術後化学療法における頭部冷却装置を用いた脱毛予防と回復時期についての検討

がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) 本田 弥生

PO1-2 周期術化学療法における頭皮冷却の効果に関する検討

砂川市立病院 乳腺外科 細田 充主

PO1-3 乳房切除後疼痛症候群への微細血管塞栓療法の臨床成績

Okuno Clinic. 奥野 祐次

PO1-4 当院での遺伝性乳がん卵巣がん症候群の診療における看護実践

地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院 看護部 藤村 弓子

PO1-5 肥満乳癌患者への管理栄養士の取組み - 対面に対する電話による指導の非劣性を検証するランダム化比較試験 -

がん研究会有明病院 栄養管理部 伊丹優貴子

PO1-6 外科系「医局」に対する組織論的検討

三井記念病院 形成外科・再建外科 棚倉 健太

ポスターブース② G1-G4

ミニポスター発表 PO2

17:10-18:00

外科治療①

座長：井口 雅史（金沢医科大学 乳腺・内分泌外科）

PO2-1 術前針生検で非浸潤性乳管癌と診断した症例におけるセンチネルリンパ節転移陽性例の特徴

順天堂大学附属順天堂医院 乳腺科 野崎 由夏

PO2-2 乳癌センチネルリンパ節の微小転移の予後は転移なしとマクロ転移の中間に位置づけられる

がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) 時澤 博美

PO2-3 乳癌センチネルリンパ節転移陽性症例に対する腋窩リンパ節郭清省略の長期予後

聖マリアンナ医科大学 乳腺内分泌外科 小島 康幸

PO2-4 乳房切除症例における OSNA を用いたノンセンチネルリンパ節転移予測モデルの有用性の検討

大阪大学大学院医学系研究科 乳腺内分泌外科 阿部かおり

PO2-5 「HIROTECH-LED」-system を用いた小切開・明視野・整容性の高い乳癌手術

医療法人 徳洲会 野崎徳洲会病院 乳腺外科 中嶋 啓雄

PO2-6 原発巣切除を行った Stage IV 乳癌における Oligometastatic 癌症例の検討

日本赤十字社 長崎原爆病院 乳腺内分泌外科 柴田健一郎

ポスターブース③ G1-G4

ミニポスター発表 PO3

17:10-18:00

術前化学療法

座長：服部 正也（愛知県がんセンター 乳腺科）

PO3-1 トリプルネガティブ乳癌における術前化学療法の効果予測

帝京大学 医学部 佐藤 綾奈

PO3-2 トリプルネガティブ乳癌に対する術前化学療法の効果予測因子と予後についての検討

大阪国際がんセンター 乳腺内分泌外科 日馬 弘貴

PO3-3 当院における HER2 陽性乳癌の術前薬物療法の効果と治療効果予測に関する検討

昭和大学 乳腺外科 足立 光希

PO3-4 術前化学療法を施行した乳癌症例の予後予測における CPS-EG の有用性について

神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科 安川 美緒

PO3-5 術前化学療法 pCR 例で術後再発をきたした症例の臨床的特徴

山梨県立中央病院 乳腺外科 井上 正行

PO3-6 術前化学療法による乳癌組織の免疫環境変化及びその臨床的意義に関する各サブタイプ別比較検討

久留米大学 外科学講座 緒方奈々恵

ポスターブース④ G1-G4

ミニポスター発表 PO4

17:10-18:00

薬物療法 (CDK4/6阻害剤①)

座長：池田 雅彦 (福山市民病院 乳腺甲状腺外科)

PO4-1

酪酸菌製剤によるアヘマシクリブの下痢のマネジメントと治療効果

国立病院機構 九州がんセンター 乳腺科 徳永えり子

PO4-2

実臨床におけるアヘマシクリブの有害事象の検討

がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) 足立 未央

PO4-3

高齢者における CDK4/6 阻害剤の忍容性と効果の検討

がん研有明病院 乳腺内科 小林 心

PO4-4

アヘマシクリブによる間質性肺障害の発生リスクの検討

千葉大学 医学部 附属病院 臓器制御外科学 大川 恭一

PO4-5

当院での Abemaciclib による間質性肺炎発症例のプロファイリング

福山市民病院 乳腺甲状腺外科 山本 真理

PO4-6

バルボシクリブ投与患者の副作用マネージメント目的の問診票作成とその効果と課題

順天堂大学附属順天堂医院 看護部 橋本 春希

ポスターブース⑤ G1-G4

ミニポスター発表 PO5

17:10-18:00

AI診療・その他

座長：校園 忠彦 (岡山大学病院 乳腺・内分泌外科)

PO5-1

深層学習を用いた造影超音波による原発性乳癌の腋窩リンパ節転移診断能の検討

北海道大学病院 乳腺外科 押野 智博

PO5-2

マンモグラフィにおける AI を用いた乳房構成判定ソフトの妥当性評価

JA 愛知厚生連豊田厚生病院 外科 / 愛知乳がん検診研究会 丹羽 多恵

PO5-3

当院における AYA 世代乳癌症例の臨床病理学的検討

三重大学 医学部 附属病院 乳腺外科 澁澤 麻衣

PO5-4

当院における AYA 世代乳癌の臨床病理学的特徴と、治療後の妊娠・出産について

がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) 才田 千晶

PO5-5

東京都内の COVID-19 流行が乳がん診療にもたらす影響についてのアンケート調査

国立国際医療研究センター病院 乳腺内分泌外科 北川 大

PO5-6

LINE を用いた乳癌患者の PRO 収集システムのフィージビリティの検討

慶應義塾大学 外科学教室 一般・消化器 榎木 晴妃